

令和6年度第1回 府中市公共施設マネジメントモデル事業検討協議会議事録

▽日 時 令和6年5月14日（火） 午後4時から午後5時30分まで

▽場 所 府中市役所 おもや4階 会議室A401

▽出席委員 山本会長、松下副会長、齋藤委員、筒井委員、難波委員、森委員、山口委員、油井委員

▽欠席委員 栗原委員、水橋委員

▽出席職員 高野市長、石川総務管理部長、山田総務管理部次長（兼）財産活用課長、町井建築施設課長、森影建築施設課長補佐（兼）公共施設マネジメント担当副主幹、本木建築施設課文化・スポーツ施設老朽化対策担当副主幹、風間建築施設課公共施設マネジメント担当主査、奥建築施設課文化・スポーツ施設老朽化対策担当主査、武内建築施設課事務職員、小林建築施設課事務職員

▽傍 聴 者 なし

▽内 容

- 1 委嘱状交付
- 2 市長挨拶
- 3 委員・事務局の紹介
- 4 会長及び副会長の選出
- 5 諮問
- 6 議題
 - (1) 会議の公開等について
 - (2) 公共施設マネジメントの取組の全体像とモデル事業の概要について
 - (3) 対象施設の概要について
⇒文化センター、地域体育館・地域プール・庭球場、小学校・中学校、学童クラブ
 - (4) 検討協議会のスケジュール（案）について
- 7 その他

【配布資料】

資料1 府中市公共施設マネジメントモデル事業検討協議会規則

資料2 府中市公共施設マネジメントモデル事業検討協議会委員名簿

資料3 府中市公共施設マネジメントモデル事業検討協議会の会議の公開等について（案）

資料4 公共施設マネジメントの取組の全体像とモデル事業の概要について

資料5 対象施設の概要について

資料6 検討協議会のスケジュール（案）について

会議録

(事務局)

「第1回府中市公共施設マネジメントモデル事業検討協議会」を開催いたします。

委員の皆様におかれましては、ご多用のところ本協議会にご出席いただき、誠にありがとうございます。

私は、建築施設課長補佐の森影と申します。よろしくお願いいたします。

協議会を開催するに当たりまして、はじめに事務局よりお願いでございますが、議事録の作成をスムーズに行うため、本協議会の議事については録音をさせていただきます。また、広報用に開催中の写真も数枚撮影させていただきますので、併せてご了承願います。

それでは、協議会の会長が決定されるまで、事務局で議事の進行をさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

次第に入ります前に、配付資料の確認をさせていただきます。お手元の資料をご確認ください。

※配付資料の確認

資料の不足はございませんでしょうか。会の進行中、何かございましたら事務局までお声掛けください。

それでは、お手元の次第に従いまして、会議を進めてまいります。

【次第1 委嘱状交付】

(事務局)

初めに、次第の1「委嘱状交付」でございます。

委嘱状につきましては、本来であれば、市長から委員の皆様へ直接お渡しするところでございますが、時間の関係もございますので、皆様の机の上に置かせていただきました。これを持ちまして、委嘱状の交付に代えさせていただきますのでご了承ください。なお、委員の任期につきましては、本日から令和7年3月31日までとしておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

なお、本日の委員の皆様の出席状況につきまして、水橋委員と栗原委員から欠席する旨の申し出をいただいております。

出席委員の数が過半数に達していることから、本日の会議は有効に成立することをご報告いたします。

【次第2 市長挨拶】

(事務局)

次に、次第の2「市長挨拶」に移らせていただきます。

会議の開催に当たりまして、高野律雄府中市市長から皆様にご挨拶を申し上げます。

(高野市長)

※高野市長より挨拶

(事務局)

高野市長、ありがとうございました。

【次第３ 委員・事務局の紹介】

(事務局)

続きまして、次第の３「委員・事務局の紹介」でございます。

本日配付いたしました「資料２ 府中市公共施設マネジメントモデル事業検討協議会委員名簿」をご覧ください。

資料２の委員名簿につきまして、委員の皆様、お名前に間違いがないかご確認いただければと思います。

恐れ入りますが、資料２の名簿順に各委員から簡単に自己紹介をお願いいたします。

※各委員による自己紹介

(事務局)

皆様、ありがとうございました。

なお、本日ご欠席の方で、府中市立小中学校ＰＴＡ連合会から選出の水橋 佳也子氏、府中市図書館協議会から選出の栗原 浩英氏の２名が委員として委嘱されております。

続きまして、事務局の紹介をさせていただきます。

※事務局による自己紹介

改めまして、私は建築施設課長補佐の森影と申します。よろしくお願いいたします。

なお、会議において各施設の方向性に関する議論を行う際は、対象施設の所管課の職員の出席も予定しておりますので、ご承知おきください。

また、モデル事業の検討に関して業務委託を請負っている株式会社日本経済研究所の担当も事務局として同席させていただきますので、併せてご承知おきください。

【次第４ 会長及び副会長の選出】

(事務局)

続きまして、次第の４「会長及び副会長の選出」でございますが、お手元の資料１「府中市公共施設マネジメントモデル事業検討協議会規則」の第３条第１項では、委員の互選により定めることとしておりますが、いかがいたしましょうか。

(委員)

事務局の方で考えがあればご提案いただきたいと思います。

※賛成との声あり。

(事務局)

ただいま、事務局の考えはとのご発言がありましたので、私からご提案をさせていただいてよろしいでしょうか。

事務局といたしましては、公共施設の活用や保全、また他自治体の関連する取組にも精通されていらっしゃる、東京都立大学教授の山本委員に会長を、また、地域対応施設である学校施設に精通されている松下委員に副会長をお願いしたいと考えておりますが、委員の皆様いかがでしょうか。

※異議なしと声あり。

(事務局)

ありがとうございます。ご異議がないようですので、事務局案で決定いたします。

それでは、お手数ですが、山本委員は会長席に、松下委員は副会長席にご移動をお願いいたします。

※委員長、副委員長移動

(事務局)

それでは、ここで会長にご就任いただく、山本委員より、ご挨拶をお願いいたします。

(山本会長)

ただいま会長に任命いただきました。今回の検討協議会のモデル事業は難しい課題であり、委員の皆様のお見をお借りしたいと思います。よろしくお願いします。

(事務局)

ありがとうございました。続きまして、副会長にご就任いただく松下委員、ご挨拶をお願いいたします。

(松下副会長)

副会長として、委員の皆様が活発に議論できるように会長を補佐したいと思います。府中市の公共施設は老朽化が進んでいます。学校の改築は順次進めているところです。府中第八小学校も改築が無事終わり、子ども達は新校舎でいきいきと授業を受けています。学校、文化センター等は地域の拠点として大切な施設であり、将来の施設のあり方をともに考えていきたいと思っています。

【次第５ 諮問】

(事務局)

次に、次第の５「諮問」でございます。高野市長から山本会長に、諮問書をお渡しさせていただきます。それでは、高野市長、お願いいたします。

※高野市長より諮問書の文面を朗読、その後、会長へ諮問書を渡す。

(事務局)

大変申し訳ありませんが、高野市長はこのあと他の公務がございますので、ここで退席をさせていただきます。

※市長退席

【次第６ 議題】

(事務局)

それでは、ここから先の進行につきましては、山本会長、よろしくお願いいたします。

(会長)

これから先は、私が議事を進行させていただきます。ただいま市長より諮問書をいただきました。委員のみなさんのお手元には、会長名の記載がない諮問書が配られたと思いますが、後ほど、事務局から正式な諮問書の写しをお配りいたします。

それでは続いて、議題①の会議の公開等について、事務局より説明をお願いします。

<議題① 会議の公開等について>

(事務局)

資料３について説明させていただきます。

※資料３について説明

(会長)

ありがとうございました。会議の公開等について、ご質問やご意見はございますか。

※意見なし。

それでは、無いようですので、会議の公開等については、事務局からの説明にありましたとおりとさせていただきます。

次に、本日の協議会の傍聴希望者について、事務局より説明をお願いします。

(事務局)

本日の協議会の傍聴ですが、広報やホームページで募集しましたところ、応募がありませんでした。

(会長)

それでは、議題②の公共施設マネジメントの取組の全体像とモデル事業の概要について、事務局から説明をお願いします。

<議題② 公共施設マネジメントの取組の全体像とモデル事業の概要について>

(事務局)

資料4について説明させていただきます。

※資料4について説明

(会長)

ありがとうございました。府中市が保有する公共施設を取り巻く課題から取組を進めている公共施設マネジメントの全体像についてと、モデル事業の概要について説明がありました。が、ご質問やご意見はございますか。

(委員)

財政的な視点から、建築資材の値上がり、働き方改革による人件費の上昇は、財政に与える影響が大きく注視した方が良いと思います。他市では様々な取組が行われていますので、事務局にはそうした事例もお示しいただき、本協議会で議論していきたいと思います。

(会長)

他にございますか。

それでは無いようですので、続いて、議題③の対象施設の概要について、事務局から説明をお願いします。

<議題③ 対象施設の概要について>

(事務局)

資料5について説明させていただきます。

※資料5について説明

(会長)

ありがとうございました。対象施設の概要について、ご質問やご意見はございますか。

(委員)

資料5の5ページ「地域体育館・地域プール・庭球場」に、総合体育館や総合プールの記載がないのはなぜですか。市役所の管轄の違いによるものなのか、ご説明いただきたい。

(事務局)

今回のモデル事業が、地域対応施設、つまり市内各地域に拠点としてあり同程度の機能をもつ施設の機能連携や複合化を想定しています。総合プール、総合体育館は、規模的にも大きく、市内全域または、市外の利用を想定できる拠点施設であり、その性質が異なることから、対象から除いています。

(委員)

それでは、中央文化センターが入っているのはなぜですか。

(事務局)

中央文化センターは、多少機能が多く、中央と名称にあるものの、市内11圏域に1つつつ、同一の基準で設けられた文化センターの1つであり、位置付けは地域対応施設のため、記載しています。

(委員)

総合プール、総合体育館は、今回のモデル事業の対象外という理解で良いか。

(事務局)

ご認識のとおりです。

(会長)

市内全体の拠点となる広域施設は対象から外し、市内各地域に配置されている地域対応施設について、今回の協議会で議論すると認識しています。

(委員)

機能連携や複合化を議論するにあたり、古い施設から順次改築するということになるのでしょうか。改築を優先する施設の基準のようなものはあるのでしょうか。

(事務局)

基本的には、築年数は1つの要素になり、劣化状況を加味し、古い順に改築していくことになる。学校についても、同様の方針で、過去に別途改築計画を検討し、個別に優先順位を

検討しています。

(委員)

機能連携や複合化を検討する際に、新しい施設は検討対象になるのですか。

(事務局)

新しい施設についても、検討対象としていただいて構いません。古い施設同士の方が改築に着手しやすいというものはあるかもしれませんが、機能や地理的な条件から機能連携や複合化の余地はあり、幅広くご検討いただきたいと思います。

(委員)

総合体育館等は対象としないとの話でしたが、それらが地域対応施設の機能を吸収するというのは、可能なのでしょうか。

(事務局)

地域拠点施設が吸収することについて、検討の余地はあります。しかし、今回のモデル事業は地域対応施設で可能な連携を主なテーマとしています。総合体育館等の拠点施設の配置状況を踏まえて、可能性の1つとして広く検討いただくことは可能です。

(委員)

複合化はイメージできますが、機能連携はどのようなイメージですか。

(事務局)

類似機能の相互利用や機能の相互補完というイメージになります。今後、他の自治体の事例もお示しいたしますので、それを踏まえて府中市の施設ごとの状況を加味し、検討いただきたいと思います。

(委員)

機能連携のイメージや重要性について理解しました。

(委員)

例えば、三鷹市には3部制の学校があり、学校の教室を1部は授業、2部は学童クラブのような子ども向けの多様な機能、3部は地域のコミュニティ施設のように、うまく機能を分けて利用しています。板橋区では、文化センターの中に高齢者施設が入っており、うまく溶け込んでいる例もあります。こうした事例も参考に、府中市に相応しい機能連携について考えていきたいと思っています。市民の使いやすさを担保しつつ、財政的に負担も考慮していく

必要があります。

(委員)

機能連携や複合化によって、敷地面積の拡張は検討しうるのですか。

(事務局)

既存施設の敷地拡張は現実的には難しいです。既存の敷地をベースに、機能連携や複合化を検討いただくことになります。

(委員)

市民の意見は、検討材料にならないのでしょうか。資料からは築年数や利用率のような数値から考えるような印象を受けます。小柳や武蔵台のような地域プールは、一定のにぎわいがあり子どもや保護者にも需要があったが、廃止されてしまった。それによりどういった声が出ているのか、施設が古いという理由だけで話を進めて良いのか、違和感があります。また、美好水遊び広場、健康センター（総合プール）などもどのような価値観によって、残すのか廃止するのかを決めるのだろうかと思います。市民の声とそれ以外の「もの差し」をどのように考えれば良いのか教えてほしいです。

(事務局)

委員がご指摘のように、過去の公共施設マネジメントの取組で地域プールを一部廃止したという取組もありました。その際は、市民の声を踏まえつつも、老朽化で改修費用がかかる中、財政的な視点を多少なりとも優先せざるをえなかった。市民の声を聞かずに個別の施設の今後を検討することができないことは承知しています。今回の協議会は個別の施設というよりも、もう少し広い視点で地域対応施設同士をどのようにしていくかという枠組みで議論を進めていただければと思います。今回の協議会の答申を受けて、個別の施設について検討する場合は、改めて市民の意見を聞いて進めていきます。

(委員)

以下3点、意見させていただきます。

1点目として、例えば「府中市文化センターあり方検討協議会」の答申内容を把握しておきたいです。その中で、複合的に図書館や児童館も議論されていると思います。児童館について、他市の場合、専門の相談員がおり、子ども達の悩みを聞くことや、保護者も対話ができます。一方で、文化センターの中の児童館では、専門の相談員もおらず、十分に相談に乗っていないと感じます。そうした課題意識もあり、文化センターにおける児童館の位置付けを知りたいです。

2点目として、学童クラブの一部が狭あい化しているという話だが、4年生は児童が多く、

一人当たりのスペースが足りない状態です。数年前に待機児童の問題もあり、その世代が4年生になったため、人数が多くスペースが足りないのだと思いますが、あと数年もすれば状況は落ち着くのではないかと考えます。今後の児童生徒数の推移やニーズを踏まえて、長期的な視点で検討すべきです。

3点目として、地域プールの一部廃止の話があったが、コロナ前から屋外プールでの熱中症が問題になっていたことを加味すると、地域体育館と地域や学校のプールを一体化し、地下に屋内温水プールができれば、熱中症の問題も解決し、学生も市民も年中プールを利用できるのではないのでしょうか。府中市がスポーツの街であれば、国技の強い水泳の復活もありえると期待できます。そうした視点からも考えていきたいと思います。

(会長)

利用実態や将来の見通しを見据えて、公共施設のあり方を考えていきたいと思います。事務局には、今後そうした資料を用意していただきたいです。

(委員)

地域プールの一部が廃止されたという話は、市民としてよく耳にしますが、代わりに小学校のプールが提供されているとの内容は聞こえてこなかったです。既存の公共施設が廃止された場合、その代替施設があるのであれば、より市民に周知するという必要になります。この協議会では、施設整備の件だけを検討するのか、その後の周知のようなアフターフォローの部分も含めて検討するのかを教えていただきたいです。

(事務局)

個別施設の検討の場合は、そうした周知のようなアフターフォローの検討も視野に入ります。今回の協議会でも検討いただくのは問題ないですが、協議会の回数も限られています。本検討協議会での他との検討項目とのバランスを見て、答申書にも書き込める範囲で書き込むというのは可能と考えます。

(委員)

過去には、限られた回数の協議会で、地域プールの廃止が決定されたこともあります。その際、廃止の決定をそのまま別の協議体に引き渡すのか、引き渡した先で再度慎重に検討されたのでしょうか。今回の協議会はどうなるのかを教えてください。

(事務局)

地域プールの一部廃止の件は、過去の公共施設マネジメントのモデル事業で検討された内容ですが、それは個別の施設に踏み込んだテーマ設定でした。よって、廃止のような踏み込んだ方向まで議論できました。ただ、その際も、「市民の皆様にご説明しながら、廃止に向け

て進めていく」のような形でまとまったと理解しています。今回は広い枠組みの話であり、具体的な施設にまでは踏み込みません。ご指摘の過去の地域プールの廃止の時とは、状況が異なるということは、ご理解いただければと思います。

(委員)

府中市の人口については、すでにピークアウトしており、今後は減少に向かうことが見込まれています。そうした状況においても、公共サービスとしてこういった機能を、将来に残していくかということを明確にすることが重要と考えます。既存施設を見ると、その施設の現在の利用状況に考えが引きずられてしまい、機能連携や複合化を考えても、今利用している市民のことを考えると及び腰になってしまいます。現在がどうかでなく、市として将来に向けてどうしていくか、何を残していくかを整理していく必要があると思います。既存施設のパズルの組み立てになってしまわないように、留意したいです。

(委員)

「府中市学校適正規模・適正配置検討協議会」のような既存の審議会での答申などを踏まえて議論する必要がある、そうした情報がないと検討できないと思います。その中で、武蔵台小学校は規模も小さく、府中第七小学校と一体化した方が良いとの答申が出ました。また、府中第七中学校を府中第十中学校と統合し、通学距離が遠くなってしまう生徒もいるので、両校の間に中学校を新設するのが良いのではないかと答申がありました。こうした既存の会議体の情報が欲しいです。

また、将来の人口推移を鑑みれば、武蔵台の状況は他人事ではないと感じる。白糸台や矢崎も同様のケースになるかもしれない。今後何年か後の学校のあり方を作るのは構わないが、その時になってみると、こんなはずではなかったとなるかもしれない。この協議会では、こういった視座で検討していけばよいか、十分に把握しきれていないと思います。

小学校と中学校の統合の話もそうだが、敷地の話もそうで、府中市には隣接している公共施設も多いです。敷地が近い施設はまとめて、まとめた後も、機能や役割は、文化センター、児童館それぞれ整理すると良いと思う。近隣の府中第七小学校も府中第七中学校の学区だから、統合した方が良いと思う。他にも四谷小学校と府中第八中学校も隣同士にあります。市役所に確認したら、小中連携は考えているようでした。同じ校舎の中で連携できたらと良いと思います。今回の内容を見たら、小中学校に、文化センター、プールに、学童に、その範囲での話だろうと思いますが、その認識で良いか。

(会長)

既存の答申、利用実態、今後の見通し等の情報が必要になる。事務局にはそうした資料を準備いただきたい。

(事務局)

次回関係資料を提示して、前提条件を共有していただき、具体的な議論に入っていただきたい。

(委員)

資料5のように、総合体育館や総合プールが、地図に記載されていないのはやはり気になります。記載はされているが、今回は考えなくて良いというのであれば、まだ納得できます。そうした幅広い施設の立地も踏まえて、地域対応施設のあり方を検討する必要があると思います。

(事務局)

地域対応施設以外にも拠点となっている体育館、プール、図書館なども記載した地図も準備していきます。

(委員)

追加でのお願いですが、都市計画地図も併せてご準備いただければと思います。また、地図をもう少し拡大して見やすくしてほしいです。

(委員)

地図はA3程度の大きさになると、見やすくなると思います。文字を大きくしてほしいです。

(委員)

少年野球場、陸上競技場のような運動施設も入れてほしいです。運動施設を考えると、そうした施設も含めて考えたいと思います。

また、地図は、道路等も記載されている開発地図のようなものになるとありがたいです。

「府中市学校適正規模・適正配置検討協議会」もすでに終わっていますので、何年後にどうなっていく、という予想があると思います。そうした資料もお願いしたいです。

(事務局)

既存の公表資料等で、可能な限り準備させていただきます。

(委員)

公表されている資料で構わないので、ご準備いただきたいです。

地図は施設ごとにバラバラでも良く、分かれば良いです。

(委員)

D Xの流れで、例えば今後、市役所出張所の窓口や戸籍の発行業務の必要性も問われてくると思います。府中市における今後のD Xの方向性を示す計画等はあるのでしょうか。

(事務局)

D Xの流れで出張所をどうしていくかというような計画等は持ち合わせていません。しかし、対象施設の関連で影響を受けそうなものがあれば、提供させていただきます。

(委員)

D Xは、進んでいる自治体も多く、都内では杉並区が参考になる。そうした資料があれば、ご提供いただきたい。

(会長)

他にございますか。

それでは無いようですので、続いて、議題④の検討協議会のスケジュール（案）について、事務局から説明をお願いします。

<議題④ 検討協議会のスケジュール（案）について>

(事務局)

資料6について説明させていただきます。

※資料6について説明

(会長)

ありがとうございました。検討協議会のスケジュール（案）について説明がありましたが、ご質問やご意見はございますか。

それでは、無いようですので、その他、事務局から何かありますか。

【次第7 その他】(事務局)

それでは、事務局より5点、お願いと確認がございます。

まず、1点目ですが、皆様に先ほど高野市長より諮問いただきました諮問書の写しをお配りしますので、ご確認をお願いいたします。

2点目ですが、本日の協議会の会議録につきましては、事務局で作成し、委員の皆様にご確認いただいた後、市のホームページ、市政情報公開室などで公開いたしますので、ご承知おきください。会議録につきましては、会議の2週間後を目途に、メールで委員の皆様にお

送りいたしまして、次回の会議開催の際に最終確認を行う形で進めてまいります。

3点目ですが、協議会の開催に際して、報酬のお支払いをさせていただきます。事前に通知させていただき、マイナンバー関係の書類や、委任状をお持ちいただくことをお願いさせていただきましたが、協議会終了後に事務局の武内と小林がお預かりに回らせていただきます。なお、報酬につきましては、来月中にはお支払いさせていただきますので、ご確認をよろしくお願いいたします。

4点目ですが、今後の会議開催通知や会議録の確認等の連絡は、会長名で送付させていただきますので、ご了承ください。

最後に、次回の協議会の開催日程についてでございますが、今後の開催予定のところでもご説明いたしましたが、7月上旬ごろを予定しておりますので、後日、調整の連絡をさせていただきます。

事務局からは以上でございます。

(会長)

それでは、全体を通して、何か質問はございますか。

ないようですので、第1回府中市公共施設マネジメントモデル事業検討協議会を閉会させていただきます。

以上